

大規模な災害時は公的な支援が届くまでに時間がかかります。あなたの住む地域に以下のような方々がいて、災害時の支援を求めているかもしれません。

要援護者の種類	特 徴
一人暮らし高齢者	災害時に助けてくれる同居の家族がいないため。持病があったり、障がいを併せ持っているとともに支援が必要になります。
寝たきり高齢者	自力では動けないため対処や避難に助力が必要となる可能性が高くなります。見守りや、介護による支援が特に必要です。
認知症高齢者	認知症のため正しい判断が出来ない恐れがあります。また災害によって被災した場合、通常の生活環境の大きな変化に対応できずにトラブルを生じることもあります。
介護保険被保険者	介護の必要な状況によって異なります。日頃のケアの継続のためには、介護ヘルパーさんや、ケアマネージャーとの連携も必要です。
高齢者のみの世帯	従来は農村部に、最近は都市部にも多くなってきています。一方が外出した際には一人暮らし高齢者と同じ状態になります。
身体障がい者	障がい者の種類には身体障がい者、精神障がい者、知的障がい者に区分されています。身体障がいの種類も多様ですが、肢体不自由な方から視覚障がい、聴覚障がい、内臓機能障がいなど様々です。例えば日常的に投薬やケアの必要な人たちも、災害時にそれらが中断・阻害されると障がい者と同等の立場になります。
精神障がい者	他者との意思伝達や自己の意思表示が難しいところから、社会的に孤立しているケースも多いので、災害時にはとりわけ周辺の理解とサポートが求められます。
知的障がい者	他人とのコミュニケーションや環境変化にとまどい、日常生活に支障をきたす場合があります。在宅の他、入所・通所の施設で生活していることがあります。新潟県柏崎市にある施設では入所者と地域住民との支え合いが災害時にも発揮され、大きな問題も無く災害を乗り切りました。
妊産婦・乳幼児	妊娠中の女性や乳幼児も活動が制約されることから、災害時の要援護者に該当することもあります。
治療中の人	一時的にせよ疾病やけがのために治療や入院をしていて、災害時の対応が難しくなる人も出てくる可能性があります。
外国人	外国人の中には自然災害の経験や知識のほとんどない方がいます。慣れない環境で対応に苦労することも考えられます。
旅行者	知らない土地で災害にあうほど不安なことはありません。旅行中は誰でも災害弱者になる恐れがあります。
帰宅困難者	通勤や通学で当該地域に来ている人達も、交通機関の不通により帰宅が困難となる恐れがあります。